

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 八百津町

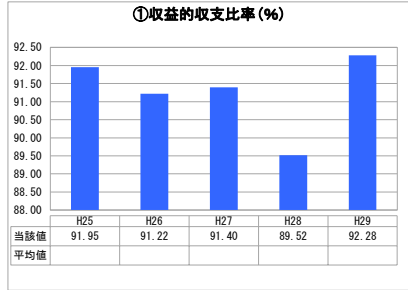
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	74.12	83.03	3,132

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,252	128.79	87.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,252	3.88	2,126.80

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



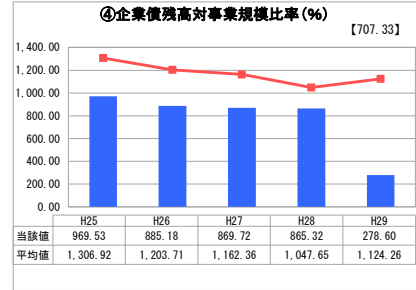
「単年度の収支」



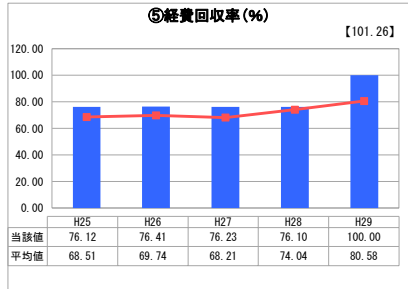
「累積欠損」



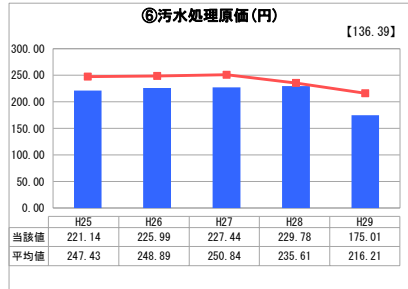
「支払能力」



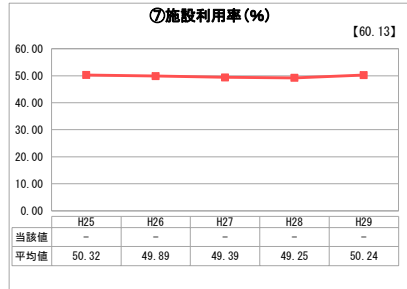
「債務残高」



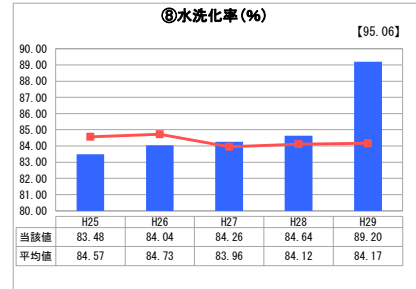
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

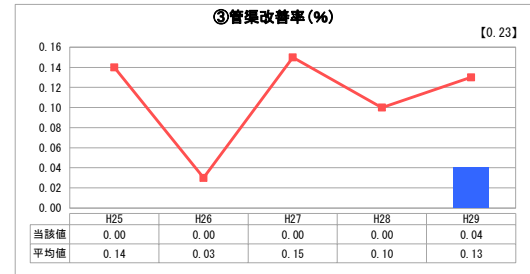
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率ですが、一般会計からの繰入金で補っており料金収入だけでは経営が成り立たない状況が今後も続くと思われる。
 ④算定数値の間違いにより減少しました。修正した数値での当該値は833.79です。
 ⑤繰入金の計算方法変更により、⑤経費回収率・⑥汚水処理原価を求める式に用いる汚水処理費が減少したため経費回収率が増加し、汚水処理原価が減少した。
 ⑧下水接続人口台帳の見直しにより増加。(新規加入者も少ないが有り。)

2. 老朽化の状況について

平成9年度に供用を開始し、管渠については定期的に清掃や補修を行っている為、直ちに修繕が必要なものはありません。マンホールポンプ等の機械設備については老朽化が進み、マンホールポンプの修繕や更新工事を行っています。

全体総括

一般会計からの繰入金を頼りにしており、人口の減少傾向により料金収入の増も見込むこともできません。また、マンホールポンプ等の修繕や、機器更新が続くと考えられます。これを踏まえ、平成31年度からの法適化による経営状況の「見える化」を図り正確に経営状況を把握し、経営戦略を再度策定します。その結果から、料金改定を含めた経営の見直しを行う予定です。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。